

製品名: IL-8RA ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12572**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	CXCR1 CMKAR1 IL8RA
別名	C-X-C chemokine receptor type 1 (CXC-R1;CXCR-1;CDw128a;High affinity interleukin-8 receptor A;IL-8R A;IL-8 receptor type 1;CD antigen CD181)
遺伝子 ID	3577.0
SwissProt ID	P25024
免疫原	AA 範囲: 1-50 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

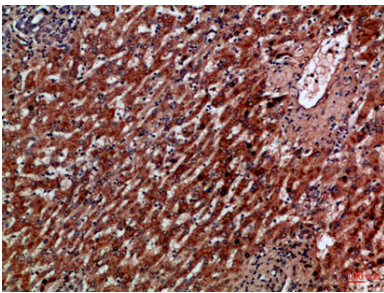
C-X-C モチーフケモカイン受容体 1 (CXCR1) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受

容体ファミリーのメンバーです。このタンパク質はインターロイキン 8 (IL8) の受容体です。IL8 に高親和性で結合し、G タンパク質活性化セカンドメッセンジャーシステムを介してシグナルを伝達します。マウスのノックアウト研究では、このタンパク質が脊髄発達中の胎児オリゴデンドロサイト前駆細胞の移動を阻害することが示唆されました。別の高親和性 IL8 受容体をコードする遺伝子であるこの遺伝子 IL8RB は、IL8RB の偽遺伝子である IL8RBP とともに、染色体 2q33-q36 にマッピングされた領域で遺伝子クラスターを形成します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 強力な好中球走化性因子であるインターロイキン 8 の受容体。IL-8 が受容体に結合すると、好中球が活性化されます。この反応は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質を介して行われます。この受容体は IL-8 に高親和性で結合し、MGSA (GRO) には低親和性で結合します。、オンライン情報: CXC ケモカイン受容体のエントリ,類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

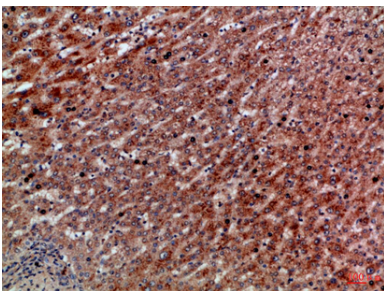
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、ケモカイン、エンドサイトーシス、ヘリコバクターピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達

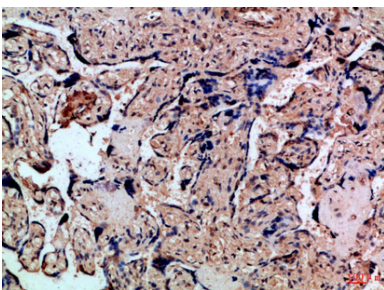
画像データ



パラフィン包埋ヒト肝臓癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された